



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

■石叫◎

「盟友の死」②

そんなトムとの間柄であったので、それ以来、お互いに信仰を支え合ってきた。サンタクララ教会ではまだ早天祈禱会がなかったもので、トムと一緒に牧師館に寝泊りして土曜早天祈禱会を始めた。とにかく主に仕え、主に喜ばれる生き方をしようという思いからだ。それは盟友としての始まりであった。

僕が東村山の神学校に行った時も訪ねて来てくれたし、彼がサンタクララ教会で結婚式を挙げた時は僕が披露宴の司会をしたり、北加で教団総会がある時などは彼の家に寝泊りしたものである。最近では一月の家の葬儀の時に家族で南加まで来てくれた。何かある時にはサンタクララでの学生生活を思い、日本の神学校にいた四年間の教会婦人会のサポートを思っては母教会を思い、そしてトムを思うのであった。僕にとって彼の存在そのものが信仰の支えだった。

今年に入って僕は三十年連れ添った妻を失った。さらには僕の実母以上に長く母親として私たち家族に仕えてくれた義母を失い、その上にトムという盟友を失った。心の片隅に大きな穴がぽっかり空いたようで、それをどう埋めることができるのか、今は知る由もない。とにかく九日のサンタクララ教会でのトムの葬儀に行く。どんな言葉が遺族を励ますことができるのか、それも分からない。でも僕が行くことによって少しでも遺族が慰められるのなら本望である。

イスラエルの王ダビデの盟友ヨナタンが戦いで死んだ時、ダビデはこう言った。「わが兄弟ヨナタンよ、あなたのためわたしは悲しむ。あなたはわたしにとって、いつも楽しい者であった」(2サムエル・26)と。これまでの三十五年以上にも及ぶトムとの主にある交わりの中で、思い出すことはただ楽しい思い出ばかりである。しかし、願わくば彼に最後までハッキリと意識があり、そこで聞きたかったことがある。それは彼の別れの言葉が何であったかである。

ああ、僕の心の支えでもあったトムよ、ハート・アタックで召される時、君は家族に何かを言いたかったに違いない。それを聞かせてはくれまいか。夢でも幻でも何でも構わないから佐知子さんに、そして二人の子供たちに話してはくれまいか。彼らの痛みを覚えて何かを言ってはくれまいか。でも今、君とのこれまでの交わりの中で一つ察することができるとすれば、それは天国で家族みんなが一人も欠けることなく再びまみえることではないかと思う。それは信仰によって裏付けされた君の叫びだと思ふのだが、如何であるか。だから残された家族に代わって願う。トムよ、天国でも家族のために祈り続けてやってくれ！

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョン・ウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

